

ただいま
活動中

金沢おもちゃ病院 (金沢市)

子供の笑顔励みに修理

「どうされましたか？」
6月の第1日曜、金沢市小坂町の城北児童会館内にある金沢おもちゃ病院。寺西欣治さん(74)は、まるで病院の医師が患者に接する時のような口調で話した。普通の病院と違うのは、「患者がおもちゃ

を手に「診断」を受けていること。寺西さんは、持ち込まれたおもちゃの具合を調べ、修理する「おもちゃドクター」だ。金沢おもちゃ病院は2001年、おもちゃを修理するこ

とで、物を大切にすることを学んでほしいと始まった。月2年度は503件に上った。この日、最初に訪れた男性が持ち込んだのは、アニメのキャラクターが描かれたプラスチック製の三輪車。ハンドルの軸の部分が壊れてしまっ

た。「開院」して30分ほどすると、寺西さんの診断を受けるため、数人が並ぶ状態となった。

隣の部屋では、10人ほどのメンバーがドライバークラッシュセットを使い、修理にあたり、経歴は多彩だ。自動車の整備や電器店経営など、人もいるが、中には現役の銀行員もいる。



メンバーがそれぞれ得意分野を生かして修理にあたる(金沢市小坂町の城北児童会館で)



持ち込まれたおもちゃについて、故障している箇所などを「診断」する寺西さん(右)

ていた。男性が「直りますか？」と心配そうに聞くと、寺西さんは「大丈夫ですよ」と

七尾、羽咋でも無料で

(前田啓介)

日本おもちゃ病院協会は1996年に全国的に組織化されたボランティア団体。1589人(2018年3月末現在)のおもちゃドクターが、公共施設や自宅など全国632か所(19年4月2日現在)の「病院」で、原則無料の修理を行う。金沢市以外の県内では、七尾市と羽咋市で活動している。

七尾市では、同市本府中町の七尾サンライフプラザで、原則、毎月第2土曜に行われている。メンバーは4人で、午前11時〜午後1時に持ち込まれたものについては可能な限りその場で修理している。

羽咋市では、同市鶴多町亀田の市すこやかセンター3階の市民活動支援センターで活動している。毎月第2火曜に修理を行っているが、支援センターが開いている平日の時間なら、受け付けだけは行っている。

大戦ンが手受判な、一民主委員の活動を紹介する写真(2019年5月13日寺西)